

# NPO法人ホープ

Newsletter in 石川



3つの事業活動（心のケア、光塩ネットワーク、インターナショナルスクール）を行っています。

## インドフェスティバル ゴールデンウィーク特別企画

5月4日（土）、内灘町で被災された方々に、楽しい時間と食事を提供、異文化交流を目的としたインド祭りを開催しました。教育委員会にも後援をいただき、内灘町の小中学校でも案内チラシを配布してもらうことが出来ました。参加者とスタッフを合わせて、160名ほどの方々が参加され、内灘聖書教会に人があふれました。インドについての学び、伝統的ドレスのサリー体験、算数、料理等、いろんな角度からインド文化を学びながらの交流でした。特に、インドの方々による料理は、インドに旅行に行った気分になるような、近所のインドカレー屋とは違うインドの日常を垣間見るようでした。手でカレーを食べる姿も印象的で、近所の方にも、いい匂いがしてたね、と言われるくらい、数日間スパイスの香りに包まれ余韻に浸ることができました。



## 内容：

NPOホープ特別イベント

PAGE 01

光塩ネットワーク

PAGE 02

IHI（石川ホープインター  
ナショナルスクール）

PAGE 02

## 支援金振込先

北國銀行

トクヒ・ホープ

普通 口座番号 6 1 8 7 2

ゆうちょ銀行

記号 1 3 1 7 0

2 1 3 1 6 5 8 1

\* 今月より支援先口座が一つになりました。

\*\* 支援先事業の指定がありましたら  
ご明記ください。



# 光塩ネットワーク（ヒカリ・みんなの食堂）

ヒカリ・みんなの食堂と災害支援活動 by マット&マンディ(香港)

6月は国際的な繋がりで、更にヒカリ食堂と災害支援活動の働きが祝福されました。香港から8人のボランティアと日本人のボランティアの方々が炊き出しに協力してくれました。そして韓国の方による演奏、つぼマッサージのサービスも提供し、被災者の方々の心や体のケアができました。仮設住宅に入っている方々へのお弁当の配給数も増えてきました。引き続き、穴水と輪島で多くの方々と出会い、神の愛を証しすることを願っています。中旬には、シンガポールから5人のチームの方々が、能登の支援活動とヒカリ食堂の働きに参加しました。3回に渡り、美味しいチキンライスを作り、ヒカリ食堂でも提供しました。散髪サービスも提供し、これから夏を迎える方々にお役に立てたことと思います。ヒカリ食堂では皆で30食分をいただき、今回初めて新しいご家族も参加されました。最初はこのご家族のお兄さんは教会に入りづらそうにしていたのですが、シンガポールの方々と遊んだ後は安心し、ゲームの時間に一緒に楽しく遊びました。全ての栄光を神様にお返します！

この希望は失望に終わることがありません。  
 なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。

ローマ人への手紙 5章5節



NPO法人ホープ  
 〒920-0277  
 石川県河北郡内灘町  
 千鳥台3-13

## スタッフ紹介



マット・ウォン。香港出身、1982年生まれ。2016年9月に家族4人で日本へ移住。OM日本の宣教師。2023年から金沢キリスト福音教会の牧師になる。昨年11月に教会でヒカリ食堂を立ち上げる。能登地震発生後、光塩ネットワークとして週2回の炊き出しを継続中。



## IHI（石川ホープ・インターナショナル・スクール）

by 丹羽

IHI 独自の授業の一つに、隔週金曜に行われているディスカバリーデーがあります。生徒が興味あることを図書館などで資料を収集して深く学び、発表する日です。6月第二金曜に行われたその日、小2の娘の希望はクッキー作りでした。元々料理には興味があり、早い年齢から色々と挑戦してきた娘ですが、クッキー作りは今回が初で、指導する父親も初でしたが、二人で本を見ながらあれこれ相談しながらクッキーを作る時間は、父と子の関係を深めるにはもってこいの時間でした。出来たクッキーを彼女は宝物のように扱い、私も含め家族と友達に、きれいに包装して分け与えてくれました。このことを通して思わされたことは、イエス・キリストも、弟子たちにどのように相手に愛を示せばいいかを身をもって示されたお方であった、ということです。当初の授業計画以上に、深い意味を教えられる授業となりました。

